



# 天目

## 禪を生きる 自分を活かして使う

「物で栄えて、心で滅ぶ」といわれて久しくなりました。戦後六十三年、「欲しがりません、勝つまでは」の標語の裏返しのように、私たちは、生活を豊かに、物欲を満たす道を、まっしぐらに進んできました。おかげさまで、素晴らしく快適な生活を手に入れることができました。日本人の真面目さ、勤勉さのたまものといえましょう。ところが「心で滅ぶ」の字の如く、私たちは、心をどこかに置き去りにしてきたようです。

心の豊かさを満たすにはどうしたらよいのか。心は他の人に満たしてもらってもではありません。自分で満たしていくものです。ではどうしたらよいのか。その問いの前に、「人間の心はもともと、豊かなのだ」ということに気がつきましょう。

私たちは、生まれてからずっと、自分に備わっている眼・耳・鼻・舌・身・意を使う訓練を続け、今では、瞬間的に、きれいな、きたない、おいしい、まずい、と判断できるようになりました。この私たちに備わっている六根を、ありがたく、丁寧に使うことが大事です。眼のおかげで景色を見ることができ、口のおかげで話ができ、ものを食べられる。なんと素晴らしいものを持っているのだらうと。自分の体をありがたく使えることを喜ぶ。

自分の心身を自分で輝かして使えば、豊かな自分がここにあることを発見でき、心が豊かになってきます。自分を喜ばすと同時に、この自分の豊かさを使つて、他の人にも喜びを与えていきましよう。

自分が輝いて、他を輝かす。お寺は皆さんの心の道場です。寺を活かして使っていくましよう。

建長寺派宗務総長 宗禅寺住職 高井正俊

※宗務総長には「天目」への御賛同をいただき、今号の原稿を執筆していただきました。

## 虚空蔵菩薩画像お披露目

栖雲寺所蔵の虚空蔵菩薩画像は、実はイエスキリストを仏画として書いたものであるとの研究結果が報告されました。しかし、当山にとつて貴重な宝物である事に変わりはありません。修理を無事に終えて、天目山に戻ってまいりましたので、ニューヨークへ貸し出す前の、七月二十四、二十五日に、大和ふるさと会館でお披露目会をいたしました。大勢の方のお参りをいただき、ありがとうございました。

## 知っていますか？

### 仏様のこと ①虚空蔵菩薩

当山に虚空蔵菩薩として伝わってきた画像が、ニューヨークへ布教の旅に出ます。さて、どのような仏様か知っていますか？

虚空とは、大宇宙の様な広さを表します。宇宙の如き大きく無限な智慧と福德を持った菩薩で、悩める全ての人々を救う力を持った仏様です。左手に宝珠を持っているのも特徴です。

当山所有の画像は、この宝珠が十字架に変わっている所が、世界にも類を見ない貴重なものなのです。

## 武田信満公のお墓

竹の根がかなり浸食し、信満公のお墓にたくさんの竹が生えるようになってしまいましたので、近くの石屋さん頼んで整備してもらいました。お墓の周りに鉄板を打ち込み、墓石も積み直ししましたので、とてもきれいになりました。



## 宝物風入展の開催

本年も、栖雲寺の宝物を一般公開いたします。通常は宝物庫にて保存している工芸品などを、大和小学校分校を展示場として公開いたします。また石庭会館では、紅葉をご覧いただきながらのお抹茶接待もいたしますので、どうぞ気軽に足をお運びいただき、秋のひと時を天目山でお過ごしください。

日時 十一月六日(土) 七日(日)

## 晋山式

晋山式(しんさんしき)は、お寺に新しい住職が就任したときに行う儀式です。山に晋(すすむ)と書きまますので、天目山に晋んで栖雲寺に住職する為の儀式となります。檀家さんや関係寺院へのお披露目式でもありますので是非無事に成功させたいと思います。ご協力よろしくお願い申し上げます。

日時 平成二十三年

五月二十二日(日)

## あとがき

厳しい残暑が続いております。今年は短い秋を経てすぐに寒い冬がやってくると言われておりますので、檀信徒の皆様もどうぞ御身体ご自愛ください。